

東京都台東区東上野一丁目 16 番 1 号
株式会社平和
代表取締役社長 嶺井 勝也

北海道北広島市における統合型リゾート(IR)開発の提案について ー 初期投資額最大 2,000 億円の自然・芸術・スポーツを融合させた IR 事業を提案ー

株式会社平和(本社:東京都台東区東上野/代表取締役社長 嶺井 勝也、以下「平和」)は北海道北広島市(市長 上野 正三、以下「北広島市」)に対し、統合型リゾート(以下「IR」)開発の提案を 2017 年 12 月 13 日に行いましたので、お知らせいたします。

1. 目的及び経緯

遊技機メーカーである平和は、「もっと楽しめる未来をつくろう」を合言葉に、全国に 140 箇所のゴルフ場を保有・運営する PGM ホールディングス株式会社(本社:東京都台東区東上野/代表取締役社長 田中 耕太郎、以下「PGM ホールディングス」)を子会社化するなど、社会の発展に貢献する総合レジャー企業を目指しております。

その活動の一環として、平和グループでは、2016 年 12 月に「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」(いわゆる「IR 推進法」)が施行されたことを受け、外部コンサルティングファームを起用し、IR 事業への進出可能性等の検討を重ねてまいりました。

本年 7 月 31 日に特定複合観光施設区域整備推進会議が公表した『特定複合観光施設区域整備推進会議取りまとめ～「観光先進国」の実現に向けて～』において議論されている IR の要件を満たすことができ、かつ、観光資源、立地優位性などの点で検討した結果、四季を通じて国内外の観光客を魅了し、多様な文化や豊かな自然を誇る北海道において、PGM ホールディングスが保有する「札幌北広島ゴルフ倶楽部」(約 280 万㎡)を活用した IR 開発が、以下の観点から最適であると判断し、2017 年 12 月 13 日に北広島市に対し、当該 IR 事業の計画を提案いたしました。

(1) 利便性・立地優位性

- 国内外から年間 5,400 万人以上(観光入込客数)の観光客が訪れる北海道における空の玄関口である新千歳空港に近く、北海道内の鉄道・道路交通網の中心である札幌市との中間に位置する利便性の高さがあること。また、今後新幹線開通の折には、東北圏を含む観光のゲートウェイとなること。
- 札幌市及び近隣自治体を含む札幌経済圏として、政府が議論している公共政策としての IR 要件に十分合致する地元人口・経済基盤を有していること。
- 約 280 万㎡という広大な敷地を有しており、MICE、宿泊、レクリエーション、カジノといった IR 推進法で求められている施設に加え、観光客や地元住民に提供できる様々な施設を整備することで、四季を通じた自然・芸術・スポーツを融合した世界に類を見ない IR の実現可能性があること。

(2) 地域貢献・地域との親和性

- 豊かな自然と歴史、高い交通利便性を活かし、ビジネス・観光の両面で世界に発信でき、さらに北海道全体の活性化につながる「北海道型 IR」に適した地域であること。
- アジア最大のランドアートミュージアムや屋外劇場等を通し、北広島市が「芸術・美術の街」として世界から認知され、一年を通して利用可能なスポーツ施設等も含め地元住民や観光客にかつて経験した事のないエンターテインメントを提供できること。
- 北広島市が目指す「希望都市」「交流都市」「成長都市」構想との親和性が高いと考えられること。
- 札幌市が推進する 2026 年冬季オリンピック・パラリンピック招致が実現した場合においても、大会・選手・メディア関連の各種会場及び宿泊施設等の提供などで大きく貢献し得ること。
- 「札幌北広島ゴルフ倶楽部」の運営を通じて地域貢献をしてきた経験を活かし、更なる地域活性化につながり得ること。

(3) 安心・安全な IR の実現性

- 政府が推進するクリーンな IR の実現に向けた各種規制・施策を遵守することに加え、地元医療機関と連携した依存症対策など世界最高水準の対策の導入を進めること。
- 市街地や地域の住居エリアから広大な自然により隔てられた敷地内における IR 開発により、静謐な周辺環境の維持を図りつつ強固なセキュリティを確保するなど、より安心・安全な IR の実現可能性が高いこと。

2. 対象地概要

対象地:札幌北広島ゴルフ倶楽部

所在地:〒061-1101 北海道北広島市中の沢 450-1

敷地面積:2,804,583.30 m²

ホール数:54 ホールズ

アクセス:電車 札幌駅から約 15 分、新千歳空港駅から約 20 分

車 札幌 JCT から約 17 キロメートル約 15 分、新千歳空港から約 23 キロメートル約 20 分

3. 提案概要

(1) IR コンセプト:「世界初の四季を通じた自然・芸術・スポーツが融合した統合型リゾート」

- ・ 北海道は観光地として高い人気があることに加え、特有の歴史・文化・気候を有していることから、更なる観光産業の成長が期待でき、日本における観光産業の成長を促進する。
- ・ 札幌圏内の北広島市へ IR を導入することで、巨大な民間投資を創出し、北広島市が目指す都市像「希望都市」「交流都市」「成長都市」の実現を促進する。
- ・ 観光振興、インフラ整備、教育機関との連携、雇用の創出及び周辺環境の整備、自然を活用したスマートシティの実現、地元企業との連携

(2) 想定事業規模(外部アドバイザーの助言に基づき試算)

初期投資額 最大 2,000 億円規模

事業運営における効果(持続的な効果)

- ・施設総収入 1,400 億円～1,950 億円
- ・生産活動の誘発額 1,610 億円～2,230 億円
- ・雇用創出 17,000 人～23,700 人
- ・税収効果 220 億円～305 億円*1
- ・納付金効果 110 億円～670 億円*2

建設投資による効果(一時的な効果)

- ・生産活動の誘発額 2,250 億円～3,400 億円
- ・雇用創出 19,900 人～26,500 人
- ・税収効果 275 億円～367 億円*1

*1:国税、地方税(道府県民税、市町村税)の合算。

*2:納付金の設定は、特定複合観光施設区域整備推進会議資料を踏まえて試算。

認定都道府県等から立地市町村等周辺自治体への交付内容や方法は未定。

(3) 主要施設

- ・ 約 5,000 人の収容が可能な国際会議場を含む国際競争力の高い国内最大級の MICE 施設
- ・ 国内最大級かつ札幌圏として数少ない5つ星の宿泊施設(2,000 室規模)
- ・ 広大な土地と豊かな自然環境を活かしたアジア最大の屋外劇場及びランドアートミュージアムの整備
- ・ メジャーな国際大会を誘致できる国内最上級のゴルフ場への改修
- ・ モーグル、ハーフパイプ、クロスカントリー等の様々な種目に対応するウインタースポーツ施設
- ・ 北海道特有のアイヌ文化や食文化を活かしたレクリエーション施設
- ・ 北海道らしい白銀の雪を望みながら楽しめる温泉施設を整備し、滞在型観光を促進

4. 今後の対応

IR 実施法案の作成・審議状況を見つつ、同時に、「オープン・コンソーシアム」として、開かれた形で関連事業者が参画できるコンソーシアムを形成するべく北海道内において関心のある全ての事業者をはじめ、国内外の関連事業者及び国外の大手 IR オペレーターとも協議を進め、IR の実現に努めてまいります。

【IR 完成イメージ図】



【立地・アクセス】

アクセス: 電車 札幌駅から約 15 分、新千歳空港駅から約 20 分

車 札幌 JCT から約 17 キロメートル約 15 分、新千歳空港から約 23 キロメートル約 20 分



< 本件に関するお問い合わせ >

平和 IR プロジェクト お問い合わせ事務局

電話: 03-6821-3843

E-mail: inquiry@heiwa-ir.co.jp

担当: 加生(かしょう)